

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

第3回 そだちネットワーク部会

開催日時 2025年9月18日(木)

15:30~17:00

参加者所属機関名等

飯山養護学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村
児童養護施設いいやま・相談事業所よろこび・事務局(北信圏域総合相談支援センター)

本日のテーマ、課題等

(1) 全体共有 (2) 各WGでの検討

会議内容

(1) 全体共有

① 第2回 地域研修会(7/30)についての報告(飯山養護学校)

今回の研修会は、特別支援教育に直接携わっている先生方だけではなく、管理職の先生や学級担任・支援員の方も対象とし、特別支援教育の裾野を広げることを目的として開催された。校長・教頭の他、学級担任・養護教諭など120名ほどの多くの先生方の参加があった。同じ話をみんなで聞けてよかった等の感想があった。

② 精神保健福祉学習会(9/11)の報告(北信保健福祉事務所)

問題解決しない事例検討会を開催した。事例について仮説立てを行った。問題を解決するのは本人であり、支援者は本人の困っていることの理解を深め、一緒に考えていくことが大切であるといった内容であった。

③ 発達障がい支援フォーラム実行委員会より(事務局)

動画の活用方法と、動画に関するリーフレット作成について検討している。

④ 自立支援協議会より(事務局)

・重心・医ケア部会 ほくしん・といろの会 開催(9/11)

災害時対策について県支援センターの亀井氏より講義していただいた。座談会では、医ケア児者の生活を支える資源不足について、ご家族から不安の声が多くあがった。地域課題として今後、部会で検討予定。

⑤ 長野県自立支援協議会 療育部会より

現在、市町村に放デイの活用状況や児童発達支援センターの中核的機能について実態調査をお願いしている。福祉課だけで回答が難しい際には、子ども施策に関する皆様の協力もお願いしたい。
また、今後、市町村ワーキンググループにも挙げていく予定。

⑥ その他

第2回飯山養護学校特別支援教育連携協議会を11月に開催予定

(2)ワーキンググループ活動

●柱1:子どもの支援 WG

目的:子どもが適切な支援を受ける事で、その子らしさを発揮できる

副学籍制度の運営方法について、保護者が理解して進められているのかの見直しや、その理念について各市町村の資料を用いて共有・情報交換を行った。来年度の確認を支援会議で行う大切さを共有した。

次回からは、学びの場の保護者説明の際の内容やプロセスについて検討を始める。

●柱2:家族の支援 WG

目的:家族がその子のいいところも苦手な所もありのままに受け入れて子育てができる

良好な親子関係が、子どもの将来の自立に繋がることをテーマとしている。どのような情報を啓発できると地域の子育て中のご家庭に有用であるのか、アイデア出しを行った。今後、提案された方法や場の活用について、ポピュレーションアプローチの視点を大切に検討し具体的なツール作成に向けて検討する。

●柱3:ネットワーク充実 WG

目的:子どもと親が安心して生活するために、支援者が繋がってチームを作ることができるツールづくり
教育機関(小・中・高校)向けの相談窓口一覧(2025 版)を作成した。

高校中退について、実数を把握できておらず課題である。

中学校卒業後に支援を必要としたときに、適切にこども家庭支援センターの相談につながるための周知の在り方やツールの作成について検討した。

(3)その他

- ・第4回 令和7年 12月 9日(火) 飯山市木島地区活性化センター
- ・第5回 令和8年 2月 18日(水) 飯山市木島地区活性化センター